

# 抽出データの管理

---

「抽出データの管理」のトレーニングへようこそ。

データセットとワークブックをダウンロードして、実際に操作してみてください。このトレーニングではメタデータの管理のワークブックを使用します。

## 抽出の作成

接続しているデータソースから接続しデータを抽出するには、データソースを右クリックして [データの抽出] を選択します。

- Tableau には、抽出をカスタマイズするためのさまざまなオプションがあります。このオプションについて詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。
- ここでは、設定を変更せずに [抽出] をクリックします。
  - ワークブックが、拡張子 .twbx のパッケージドワークブックである場合には、抽出されたデータは自動的にパッケージドワークブックの一部として保存されます。
  - ワークブックがの拡張子が .twb の場合や、まだ一度も保存されていない場合には、拡張子 .tde の Tableau データ抽出ファイルとして保存する場所を指定する画面が表示されます。

## 抽出の使用

このアイコンが、1 つのシリンダーから、矢印の付いた 2 つのシリンダーに変わりました。

- これはデータがネイティブの環境から高速データエンジンに抽出されたことを示しています。元のデータはそのまま、変更されることはありません。
- また、データソースを右クリックすると [抽出を使用] オプションがオンになっていることから、抽出されたデータであることがわかります。
- ライブ接続に戻すには、[抽出を使用] オプションをオフにすればいつでも切り替えられます。
  - 参照元ファイルが変更、または移動された場合は、[抽出を使用] オプションのチェックを外すとファイルを交換するよう求められる場合があります。新しいファイルのある場所に移動し、
  - アイコンが 1 つのシリンダーに戻ったことを確認します。
- 抽出を再度オンにします。

## 抽出の更新

- 参照元データに変更があっても、今はデータの抽出された静的コピーに接続しているため、次に抽出データを更新するまでビューに変更内容は反映されません。
- 抽出データを更新するには、データソースを右クリックし、[抽出] メニューから [更新] を選択します。
  - 抽出をパブリッシュすると、Tableau Server または Tableau Online によって更新を管理することができます。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

## データソースの変更

初めてデータに接続した際にその場で抽出を作成することもできます。別のデータソースに接続してみましょう。

- ツールバーの [データに接続] アイコンをクリックします。
- Excel を選択し、このトレーニングのページからダウンロードできるファイルを選択し、[開く] をクリックします。

- データソースページで [抽出] をクリックし、シートに戻ります。

これでデータソースが 2 つになったので、Tableau Desktop の重要な機能であるデータソースの置換を行うことができます。

- このプロセスは、例えばローカル抽出を使用して検証を行い、その後ライブプロダクション環境に切り替える場合などに役立ちます。

データソースには 2 種類あり、青のチェックは現在 Viz で使用しているプライマリ接続、他のデータソースのリンクアイコンはデータブレンドが可能であることを示しています。

- これを切り替えるには、データソースを右クリックし、[データソースの置換] を選択します。
- どのように置換されるのかを確認できるダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。
- 元のデータ接続はもう必要なくなったので、右クリックして [閉じる] を選択します。
- 平均値下げ率が赤いフィールドで示され、[割引] フィールドの横には赤い感嘆符が表示されます。
  - 上の方に、もう 1 つ [値下げ率] というフィールドがあります。
  - これは [割引] と同じデータで、新しいファイルで違う名前が付けられただけです。
- 元の [割引] フィールドを右クリックして [参照の置換] を選択すると、[割引] が [値下げ率] を参照するよう設定できます。

これで警告マークが消えました。ただし [既定の集計] を再度行う必要があることにご注意ください。

## まとめ

「抽出」のトレーニングビデオをご視聴いただき、ありがとうございます。データソースに関する詳細は、データソースのパブリッシュと保存のトレーニングをご覧ください。